

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

氏名	辻 昌子
(研究テーマ名) フランス世紀転換期における文学と大衆ジャーナリズム	
(研究活動実績) <p>本年度は、2011 年度に提出した課程博士論文をまとめ、著書『「ジャーナリスト作家」ジャン・ロラン論、世紀末的審美観の限界と「噂話の詩学」』（大阪公立大学共同出版会、2013、9 月）として出版した。本著は、19 世紀後半から都市部で隆盛を誇る大衆向けジャーナリズムのなかで、世紀転換期にトップジャーナリストとして君臨したジャン・ロランを再評価することによって、文学作品における大衆ジャーナリズムの功績を論じるものである。本著の加筆訂正の作業を通じて、世紀末的審美観とジャーナリズムの問題をさらに深めるために、世紀転換期には対立的な審美観を持つようになるロベール・ド・モンテスキウとフランスにおけるアール・ヌーボー流行の中心的人物であるサミュエル・ビングについて、メディア上で彼らがいかに描かれていたか調査を続行している。これらの調査については、フランス国立図書館のオンライン機能を用いて行い、13 年度はその調査結果を勉強会にて随時報告している。</p> <p>また、同時期に活躍した作家カチュール・マンデスの著作についても、近く出版に向けて共同で翻訳作業を行っている。</p>	